

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	県施行街路事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	～ 令和7年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	地方財政法第27条第1項

【事業概要】

現状と課題	事業者である兵庫県が、確実に事業進捗を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	兵庫県実施の街路事業の進捗を図る。
対象 ※誰、何に対して	兵庫県
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	工事負担金を支出する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	200,339 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	180,200 千円
	その他特財	千円
	一般財源	20,139 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	232,155 千円	204,057 千円	200,339 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	負担金の適正な執行により、円滑に事業推進が図られた。

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	県施行街路事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
兵庫県	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
負担件数	件	1	1	1
活動指標分析結果	令和元年度は、事業者である兵庫県に対して工事負担金を執行した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
負担済件数	件	1	1	1	令和7年度	1
成果指標分析結果	確実に負担金の執行を行っている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	神吉中津線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成19年度 ～ 令和6年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、道路法

【事業概要】

現状と課題	令和6年度末までに、当該道路事業を完了させ供用する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中心市街地への交通の流入を容易にするとともに、加古川渡河部の慢性的な交通渋滞の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川地区、加古川西地区の周辺住民及び道路利用者(車両、市民等)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	令和6年度末、全線供用を目指し、道路改良を行う。令和元年度は、物件調査、積算業務、用地取得、物件補償を行った。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		896,077 千円
財源内訳	国庫支出金	391,735 千円
	県支出金	千円
	地方債	366,000 千円
	その他特財	千円
	一般財源	138,342 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	368,733 千円	926,098 千円	896,077 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間内での完成に向け、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	神吉中津線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業進捗率	%	16	23	33

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業進捗状況	%	16	23	33
活動指標分析結果	令和元年度は、物件調査3件、用地買収2, 263.89m ² 、物件補償8件、道路改良工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	16	23	33	令和6年度	100
取得土地率	%	68	84	93	令和6年度	100
物件移転率	%	83	93	94	令和6年度	100
成果指標分析結果	令和6年度末までに、全線供用を目標として、特定財源の確保に苦慮しながらも、事業を推進している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	中津水足線外1線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成13年度 ～ 令和4年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、道路法

【事業概要】

現状と課題	令和2年度までに、当該事業範囲の用地取得を完了させる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中心市街地へ集中する交通量を効率的に分散させ、交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者、自転車の通行の安全を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川地区の周辺住民及び、道路利用者(車両、市民等)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	令和4年度末全線供用を目指し、道路改良を行う。なお、令和元年度は、物件調査、土地取得、物件補償、道路改良工事を行った。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		456,810 千円
財源内訳	国庫支出金	118,895 千円
	県支出金	千円
	地方債	222,100 千円
	その他特財	千円
	一般財源	115,815 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	492,573 千円	418,217 千円	456,810 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間内での完成に向け、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

事務事業名	中津水足線外1線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象道路の延長距離	m	0	0	0

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	150	150	150
活動指標分析結果	令和元年度は、物件調査1件、用地買収944.54m ² 、物件補償4件、道路改良工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	70	75	78	令和4年度	100
取得土地率	%	96	99	99	令和4年度	100
物件移転率	%	94	98	99	令和4年度	100
成果指標分析結果	早期事業効果の発現を見据え、令和4年度末全線供用を目標として、特定財源の確保に苦慮しながらも、事業を推進している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	市域街路網調査事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法

【事業概要】

現状と課題	J R 東加古川駅周辺には踏切が近接して多数あり、踏切による渋滞や、歩行者や自転車の安全な通行が確保されていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	機能的な幹線道路ネットワークの構築及び、連続立体交差事業に伴い駅周辺の更なる活性化を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内全域
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県が事業主体となる「東加古川駅周辺の連続立体交差事業」に関する調査に対し、負担金を支払う。また、事業に起因する将来幹線道路ネットワークの再編や駅周辺のまちづくり等に関して調査を実施する。

【コスト】

		令和元年度（決算見込）
事業費合計		49,461 千円
財源内訳	国庫支出金	1,044 千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	20,588 千円
	一般財源	27,829 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	10 計画調査費
細目	020 市域街路網調査事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	31,221 千円	49,461 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	引き続き幹線ネットワークの再編及び、連続立体交差事業に伴う周辺まちづくりの方向性について検討・調査を進める

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	市域街路網調査事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
都市計画道路	m	0	0	133,840

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
関係機関と意見調整した回数	回	0	5	5
活動指標分析結果	連続立体交差事業に伴う都市計画道路見直の見直しや駅周辺のまちづくりの方針等については、引き続き連続立体交差事業の事業主体である兵庫県と協議・調整を進める。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
都市計画道路見直し対象路線の抽出	式	0	0	1	令和2年度	1
成果指標分析結果	連続立体交差事業に伴う都市計画道路見直の見直しや駅周辺のまちづくりの方針等については、協議・調整を継続する。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	港湾振興及び保全対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	昭和49年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	別府地区と尾上地区の港湾があり、現在、東播磨港湾計画（平成10年改定）に基づき浚渫や防波堤整備が進められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	港湾施設の快適な利用と、東播磨港の安全・振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	港湾利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	港湾の清掃活動などを通じて各種港湾関係団体との連携を深める

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	560 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	560 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	04 港湾費
目	01 港湾管理費
細目	005 港湾振興及び保全対策事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	562 千円	560 千円	560 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	港湾整備の充実は東日本大震災以降特に関心が高まっているため、港湾整備への各種調整窓口として継続していくことが妥当である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	港湾振興及び保全対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
別府港及び尾上港	地区	0	2	2

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
港湾清掃参加者	人	222	247	247
活動指標分析結果	港湾の安全や景観を維持するため町内会や漁業組合、市職員で協力しあい港の清掃を行っており、活動として妥当なものと考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
収集ごみの量	キログラム	0	1,500	15,000	令和2年度	1,500
成果指標分析結果	毎年同じ位の人数で行っており、一定の水準を維持しており、妥当なものと考えられる。					